

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：不整脈研修プログラム

病院名： 東広島医療センター

2. 診療科：(専門領域)

循環器内科

3. コースの概要

留学期間中、頻脈性・徐脈性不整脈症例を担当し、心電図診断や抗不整脈薬の使い方を習得するとともに、カテーテル・アブレーションやデバイス植え込み術を経験する。

4. 目標

短期目標

- 1) 基礎的な心臓電気生理を理解し、心電図診断、抗不整脈薬の使い方を習得する。
- 2) カテーテル・アブレーション、デバイス（ペースメーカー、ICD、CRT）植え込み手技を経験する。
- 3) 不整脈外来、デバイス外来を経験する。

長期目標

内科学の専門知識と幅広い臨床能力を取得し、内科医としての全人的な育成を行う。また、内科診療における問題点を発見、解決する能力を身に着ける。

5. 取得手技

- 1) 頻脈性・徐脈性不整脈の心電図診断能力を習得し、抗不整脈薬を的確に選択する能力を身につける。
- 2) アブレーション未経験者では、WPW 症候群、心房粗動・頻拍、特発性心室頻拍のアブレーションを経験する。アブレーション経験者では、さらに、房室結節回帰性頻拍、心房細動アブレーションまでを経験する。
- 3) ペースメーカー・ICD の植え込み術・交換術を習得する。ペースメーカー植え込み術熟練者は、CRT 植え込みを経験する。

6. 研修期間：6 ヶ月

7. 募集人数：1 名

## 8. 診療科の実績

主要疾患	入院数（年間）
カテーテル・アブレーション	160
ペースメーカー	86
ICD	5
CRT-D/P	2

## 9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤7名

主として研修指導にあたる責任医師 小野 裕二郎（経験年数37年）  
城 日加里（経験年数29年）

## 10. コンセプト

不整脈診療においては、的確かつ迅速に心電図診断を行い、治療方針を立てる必要がある。当科では、心電図解読能力を重視している。基礎的な心臓電気生理理論を学び、心電図解読能力や抗不整脈薬を的確に選択する能力を養う。カテーテル・アブレーションも年間200例以上、ペースメーカーを80例以上行っており、これらの手技の指導を受け、経験することができる。また、多くの学会発表を行っており、各学会、研究会への参加・発表も可能である。